

2025年 新課程入試 「各大学 予告一覧」 — 解説編(更新版) —

旺文社 教育情報センター 2023年6月2日

旺文社教育情報センターでは、各大学が公表している2025年新課程入試の予告につき、「特に注意すべき点」に絞って一覧(別表)にまとめた。今回の6月2日更新版では、234大学を集計している。本記事ではその見方と全体的な傾向を解説していく。

※各大学の予告内容は別表「[各大学 予告一覧](#)」を参照。

※「予告一覧」は今後、各大学の公表にあわせて随時更新していく。本記事は傾向に変化があった場合に限り、更新していく予定。

●本記事のサマリー

■■■ 共テ 注目点 ■■■

【地公】「地総、歴総、公共」は特に国公立の難関大、医学部等で選択不可。

【数学】これまでの「数ⅡB」と比べて「数ⅡBC」を利用する大学は現状変化なし。

【情報】「情報Ⅰ」は一般では「国立大＝必須」「公立大＝必須、選択、課さないに分かれる」「私立大＝選択または課さない」。

■■■ 独自入試 注目点 ■■■

【国語】「論理国語＝含む」かつ「文学国語＝除外」の大学に注目。評論文重視か。

【地公】「地総」「歴総」「公共」を出題範囲に含む大学が多数派だが、除外する大学も一定数。

【数学】国公立大&私立難関大は「文系＝ⅠⅡABC(B＝列、C＝ベ)」「理系＝ⅠⅡⅢABC(B＝列、C＝ベ平 または B＝列統、C＝ベ平)」が中心。

※「列＝数列」「ベ＝ベクトル」「平＝平面上の曲線と複素数平面」。

【情報】独自に作問して出題する大学は非常に少数派。

【経過措置】「共通範囲から出題」「不利とならないように配慮」が大半。

共テ「地公」の注目点

(別表「[予告一覧](#)」欄⑨)

【注目点の背景】

- ・共テの地公は指導要領の「必修科目＋選択科目」で構成されたものが5科目(例「歴史総合、日本史探究」)、「3分野の必修科目」が1科目(「地理総合、歴史総合、公共」)

の計6科目※。

- ・この中で異質なのが「地総、歴総、公共」。もともとこの科目は専門高校などの受験生を想定して設定されたもの（職業系の科目が多く、地公の選択科目まで履修できない）。

※以下、次のように表記。「地理総合＝地総」「地理探究＝地探」など。

【共テ「地公」の注目点】

- ・各大学は「地総、歴総、公共」を入試科目に含めるのか。

↓

【現状の傾向】

- ・特に国公立の難関大、医学部で選択不可（入試科目から除外）。法、経済学部など、地公の重要度が高い社会科学系の学部でも一部選択不可。

【予告一覧の見方】

- ・「含む＝『地総、歴総、公共』を入試科目に含む」「含まず＝含まない」「？＝不明」。

共テ「数学」の注目点

（別表 [「予告一覧」](#) 欄⑩）

【注目点の背景】

- ・共テの数学は「数ⅡB⇒数ⅡBC」に変わり、受験生は負担増となる。

【共テ「数学」の注目点】

- ・各大学は「数ⅡBC」を課してくるのか（除外してくる大学はあるか）。

↓

【現状の傾向】

- ・これまでの「数ⅡB」と比べて利用する大学はほぼ変化なし。
- ・「必須⇒選択」に変更する大学もあるがごくわずかで、「情報Ⅰ」と選択にするケースが見られる（例：「数ⅠA、数ⅡB＝必須」⇒「数ⅠA、数ⅡBC、情報Ⅰ＝2科目選択」）。ただしこれは「数ⅡC」よりも「情報Ⅰ」の追加による変更と考えられる。

【予告一覧の見方】

- ・「●＝必須」「△＝選択」「×＝課さない」「？＝不明」。

共テ「情報」の注目点

（別表 [「予告一覧」](#) 欄⑪）

【注目点の背景】

- ・国立大は共テの「情報」を一般選抜で必須にする方針（国大協方針）。

【共テ「情報」の注目点】

- ・「情報」は公私立大も含めてどの程度が課してくるのか。

↓

【現状の傾向】

- ・一般では「国立大＝必須」「公立大＝必須、選択、課さないに分かれる」「私立大＝選択または課さない」。
- ・国立大では北海道大（ボーダーでの判定のみに利用）、徳島大（総合判定の参考）のように点数化をしない大学も。
- ・私立大で必須にするのは、東京都市大 [共テ前期 6 教科基準点型]、日本大－文理（社会）[C方式] など極めて少数派。

【予告一覧の見方】

- ・「●＝必須」「△＝選択」「×＝課さない」「？＝不明」。

独自入試「国語」の注目点

（別表 [「予告一覧」](#) 欄⑬～⑰）

【注目点の背景】

- ・指導要領における国語の科目は「必修科目＝現代の国語／言語文化」、「選択科目＝論理国語／文学国語／国語表現／古典探究」に細分化※1。
- ・このうち「現国＝論理的な文章（要は評論文）、実用的な文章」「言文＝文学（古漢含む）」を主な題材として扱う科目※2 ⇒ この2つで大学はどの分野からも出題が可能。
- ・「現国＋言文」は基本的にどの大学も課す。これのみの大学、さらに「＋論国＋文国＋古探」を範囲とする大学多い。ただしいずれも出題内容に大きな違いはないだろう。
- ・注目すべきは、たとえば「現国＋言文＋論国」の大学。評論文重視の出題か（「言文」が入っているので小説や古典が出てもおかしくはないが）。

※1.以下、次のように表記。「現代の国語＝現国」、「言語文化＝言文」、「論理国語＝論国」、「文学国語＝文国」、「国語表現＝国表」、「古典探究＝古探」。

※2.言文はこのほかに日本の伝統や文化に関する評論なども扱う。

【独自入試「国語」の注目点】

- ・各大学は国語の出題範囲をどう設定するか（特に「論国」「文国」）。

↓

【現状の傾向】

- ・「論国＝含む」かつ「文国＝除外」の大学に注目（埼玉大、お茶の水女子大、学習院大など）⇒ 評論文重視か。
- ・中には「現国＋論国」の大学も（埼玉大－経済（昼）[前期] 一般選抜枠など）⇒ 上記以上に評論文重視。

【予告一覧の見方】

- ・「必須／選択」欄 … 国語そのものを課すか否か。「●＝必須」「△＝選択」「？＝不明」。

- ・各科目欄 … 国語を課す場合の出題範囲。「○＝課す」。
 - ・「除外分野」欄 … 出題範囲から除外するもの。例「古漢＝古文、漢文は除外」。
- 【そのほかイレギュラーな凡例】「現国、言文」欄で「○(現代の国語)」… 現国のみ課す(言文は除外)。

独自入試「地公」の注目点

(別表「[予告一覧](#)」欄⑳)

【注目点の背景】

- ・共テの地公は指導要領の「必修科目＋選択科目」で構成(例「歴総、日探」)。各大学の独自入試も同様に必修科目も出題範囲に含めてくるのか。
- ・特に「歴総」は近現代の日本史と世界史の融合科目 ⇒ 両分野の学習が必要となる。

【独自入試「地公」の注目点】

- ・各大学は必修科目「地総」「歴総」「公共」を出題範囲に含めるのか。
- ※たとえば世界史は「歴総、世探」か「世探のみ」か、公民は「公共、政経」か「政経のみ」か、など。

↓

【現状の傾向】

- ・含む大学が多数派だが、除外する大学も一定数(筑波大、東京大、京都大など)。(ただし結局、受験生としては共テで「地総」「歴総」「公共」の対策が必要)

【問題点】

- ・日本史&世界史融合の歴総は既卒生は対応できない。これを含む大学は経過措置を公表すべきだが、公表している大学は少ない(経過措置の例；2025年は「歴総、日探」は日本史分野からのみ、「歴総、世探」は世界史分野からのみ出題)。

【予告一覧の見方】

- ・「含む＝『地総』『歴総』『公共』を出題範囲に含む」「含まず＝含まない」「?＝不明」。

【そのほかイレギュラーな凡例】「含む(公は含まず)」… たとえば入試科目が「歴総、日探」「歴総、世探」「政経」となっている場合 ← 日本史と世界史は「歴総」を含むが、政経は「公共」を含まない。

※本欄ではそもそも入試で課される教科が「地理」、「歴史」、「公民」のどれなのかは割愛している。

独自入試「数学」の注目点

(別表「[予告一覧](#)」欄㉑～㉕)

【注目点の背景】

- ・指導要領で新たに数 C が追加。独自入試は数 B と数 C に注目。
- ・学習項目はそれぞれ 3 項目。「数 B＝数列／統計的な推測／数学と社会生活」「数 C＝ベクトル／平面上の曲線と複素数平面／数学的な表現の工夫」※。
- ・ただし標準単位数はいずれも 2 単位。高校では数 B、数 C とともに 2 項目を選択履修するのが標準的(「1 項目＝1 単位」程度が想定されている)(それぞれ「数 B＝列、統」「数 C＝ベ、平」を履修する高校が圧倒的に多いと思われる)。

※以下、次のように表記。「列＝数列」「統＝統計的な推測」「ベ＝ベクトル」「平＝平面上の曲線と複素数平面」。

【独自入試「数学」の注目点】

- ・各大学は数学の出題範囲をどう設定するか。特に数 B、数 C の出題項目は。

↓

【現状の傾向】

- ・国公立大 & 私立難関大は「文系 = I II ABC (「B = 列、C = ペ」)」「理系 = I II III ABC (「B = 列、C = ペ平」または「B = 列統、C = ペ平」)」が中心。

【問題点】

- ・「列」「ペ」は旧課程ではともに数 B ⇒ 新課程で数 B と数 C に分離 ⇒ しかし結局、これまでどおり「列」「ペ」を課す大学が多い ⇒ 数 B、数 C から各 1 項目の「つまみ食い」のような出題状態に。

※なお、共テの数 II BC は、BC の範囲から「B = 列、統」「C = ペ、平」の 4 項目を出題、3 項目を選択解答。

↓

【高校はカリキュラムをどう組むか】

- ・高校はせっかく数 B と数 C を各 2 単位、2 項目履修しても入試では必要ない。特に文系の数 C は負担感が大きい。
- ・いくつかの教育委員会に数 B、数 C を 1 単位で設定することについて問い合わせたところ、「教育委員会としては制限していない」「各学校の教育目標に即しているのであれば可」「1 項目 = 1 単位と考えるのが基本であり、それにのっとっていれば可 (2 単位で 1 項目しかやらない等ではなく)」などの回答。
- ・実際の各高校のカリキュラムを見てみると、標準単位数どおりの高校のほか、文系クラスで「数 C = 1 単位 (=ベクトルしかやらないと思われる)」の高校も多い。

【予告一覧の見方】

- ・「必須／選択」欄 … 数学そのものを課すか否か。「● = 必須」「△ = 選択」「? = 不明」。
- ・「出題範囲」欄 … 数学を課す場合の出題範囲。
- ・「数 B」「数 C」欄 … 数 B、数 C の出題項目。

独自入試「情報」の注目点

(別表「[予告一覧](#)」欄②)

【注目点の背景】

- ・共テ「情報」の新設を機に、独自入試でも課す大学が出てくる可能性。
- ・しかし共テ「情報」の利用は、国立大以外はイマイチ。まだ様子見の大学が多い状況。
- ・独自入試の場合、経過措置も悩ましい (共テは旧課程用の別問題を用意)。
- ・なお旧課程の段階で独自入試で「情報」を課している大学は 13 大学。

【独自入試「情報」の注目点】

- ・独自入試で「情報」を課す大学はどの程度あるのか。

↓

【現状の傾向】

- ・ 独自入試で「情報」を課す大学は非常に少ない。
- ・ 「情報Ⅰ＝選択科目」が中心。
- ・ 必須は少数派。Ⅱまで含めるのは現状、慶應義塾大、東京都市大のみ。
- ・ 電気通信大の総合型、推薦型は日本で初めて「情報Ⅰ」を CBT で実施。

【独自入試で「情報」を課す大学の例】

(凡例…[]＝入試方式(断りのない場合は一般選抜)、《必》＝必須科目、《選》＝選択科目)

- ・ 電気通信大 [前] … 情報Ⅰ 《選》
- ・ 電気通信大－情報理工 (Ⅰ類) [総合型、推薦型] … 情報Ⅰ 《必/選不明》
- ・ 広島市立大－情報科学 [後] … 情報Ⅰ 《必》
- ・ 北海道科学大－工ほか [前] … 情報Ⅰ 《選》
- ・ 麗澤大－工※ [一般] … 情報Ⅰ 《必/選不明》 ※2024 年新設予定。
- ・ 慶應義塾大－総合政策、環境情報 [一般] … 情報ⅠⅡ 《選》
- ・ 駒澤大－文ほか [全学部統一ほか] … 情報Ⅰ 《選》
- ・ 東京都市大 [「情報」試験方式] … 情報Ⅱ含む 《必》
- ・ 日本大－文理 [A 方式] … 情報Ⅰ 《選》
- ・ 立正大－経済ほか [全学部一般 (情報受験)] … 情報Ⅰ 《必》
- ・ 新潟医療福祉大 [前] … 情報Ⅰ 《必/選不明》
- ・ 南山大－理工 [全学統一 (理系型)] … 情報Ⅰ 《選 (物、化、情から大問を選択)》
- ・ 京都産業大－経済ほか [一般] … 情報Ⅰ 《必/選不明》

※一部、詳細な学部学科、入試方式は割愛。

※口頭試問や総合問題等に含める大学や、「課す方向で検討中」などの大学は除く。

【予告一覧の見方】

- ・ 「●＝必須」「△＝選択」「?＝不明」。

独自入試「経過措置」の注目点

(別表「[予告一覧](#)」欄⑦)

【現状の傾向】

- ・ 「独自入試の経過措置」を公表している大学は少ない。
- ・ 公表している大学は、おおよそ次のいずれか … 「新旧課程の共通範囲から出題」「旧課程履修者が不利とならないよう配慮」「配慮するが特別な措置は取らない」。

(2023.06 石井)